

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-1
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	204,720 円	
支出年月日	平成 30年 6月 5日	
支出内容	平成30年7月9日～7月10日, NOMA 行政管理講座『議会広報紙(誌)編集の基本と 「読まれる」紙面の作り方』(東京都渋谷区)への出張旅 費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	② (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年6月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥68,240

但、7月9日～7月10日

NOMA行政管理講座(東京都渋谷区)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 榊原 則男



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年6月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥68,240

但、7月9日~7月10日

NOMA行政管理講座(東京都渋谷区)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 木村 秀樹



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年6月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥68,240

但、7月9日~7月10日

NOMA行政管理講座(東京都渋谷区)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	平成 30 年 7 月 18 日
代 表 者	榑 原 則 男 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	榑 原 則 男 木 村 秀 樹 石 口 智 志		
実 施 日	平成 30 年 7 月 9 日 ~ 平成 30 年 7 月 10 日		
研究研修・調査等の場所	東京都渋谷区 日本経営協会 NOMA ホール NOMA 行政管理講座 『議会広報紙（誌）編集の基本と「読まれる」紙面の作り方』		
目 的	地域住民の幅広い層に多くの情報を伝え、議会活動をより身近に感じてもらえるよう、プロが使う編集技術を通じて企画・記事作成・デザインの発想法を体系的に理解し、より良い議会広報紙づくりの筋道を体系的に学ぶ。		
<p>研修内容</p> <p>○ 7 月 9 日 13 時～17 時 30 分</p> <p>研修テーマを『事例（ビジュアル）と楽しい実技で学ぶ「議会広報紙（誌）編集超入門』として広報誌づくりの各場面において「プロならどうする」を実践的に学んだ。</p> <p>紙面（○字×○行×○段）で、レイアウトの材料は「本文」＋「見出し」「写真（図表）」であり、「見出し」「写真（図表）」の配置を考えればよく、本文を加えて余白があれば「見出し」「写真（図表）」の周囲におくとよい。</p> <p>原稿作成は、結論（面白いところ＝読者が興味を引くところ）を最後に持っていくのではなく、最初の段落にいれ、重要度の順に文章を仕上げるとうまく書ける。紙面の都合で一部カットするときは後段の文章を削るだけでいい。</p> <p>見出しのない記事はない。二本立て見出しでアピールする。ただし「○○について」は×。キャッチとしての意味と、忙しい人は見出しを追っていき、気になる記事だけを読む。内容を的確に表し、読みたくなるような見出しをつける。</p>			

○ 7月10日9時30分～16時30分

面白い写真を撮る。写真には必ずキャプションを入れる。「会議中」とかは×。会議中であることは写真を見ればわかる。何を協議しているか、何が決まったかが大事で、写真で目を引きキャプションで本文へ誘うことを意識する。

右綴じの場合は、左ページが大切で、雑誌の場合広告の出稿料も違って来る。雑誌の場合、目次は表紙の裏ではなく、2～3枚目の左側に載せてある。読者の目が行きやすいところを意識して割り付けをしていくことも大切である。

それぞれの記事に担当者が見出しをつけるため、結果として同じことば「特別」「振興」などが並ぶのは×

広報紙の企画から発行まで、プロの編集技術（商業誌や商業新聞）を分かりやすく解説していただき、また行政が行いがちな失敗例（結論が後ろにある→最後まで読まないと理解できない）もなるほどと合点しながら研修することができた。

研修のほとんどがフィールドワークも加えた実践で、編集の基本を身につけることができ、今の議会広報の改善点にも気づかされた気がする。

今回の研修で学んだことを、議会広報や会派での議会報告等に生かしていきたい。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-2
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	68,240 円	
支出年月日	平成 30年 6月 14日	
支出内容	平成30年7月11日～7月12日, 全国地方議会サミット2018(東京都新宿区)への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年6月14日

(代表者) 榑原 則男 様

¥68,240

但、7月11日～7月12日

全国地方議会サミット2018 (東
京都新宿区) への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 連石 武則



研究研修・調査報告書

会 派 名	水曜会	報 告 日	平成 30 年 7 月 20 日
代 表 者	榊原 則男 	報 告 者	連石 武則 
参 加 者	連石 武則		
実 施 日	平成 30 年 7 月 11 日 ~ 7 月 12 日		
研究研修・調査等の場所	東京都新宿区 早稲田大学大隈記念講堂大講堂		
目 的	「全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生」研修会参加の為		
<p>少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が自治体に突き付けられているなか、議決権をもつ議会には、魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性をもっている。サミットでは、早稲田大学大隈記念講堂に先進的な議会が集結し、政策で地域に貢献するための実践について議論し、「地方創生時代を議会がリードする」そんな新時代への大きな場面転換の場となるべく、下記の日程でこれからの議会のあり方について議論しました。</p> <p>■1日目：7月11日（水）</p> <p>【基調講演】「地方議会から日本を変える」13：00～13：30 北川正恭 早稲田大学名誉教授</p> <p>【特別講演】「地方創生の展望」13：30～14：20 野田聖子 総務大臣の予定であったが、国会のため事務次官が代行（休憩）</p> <p>【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」14：30～16：00 片山善博 早稲田大学教授／地方創生と地方議会の役割 大西一史 熊本市長／震災復興と地方創生 北川正恭 早稲田大学名誉教授 （休憩）</p> <p>【課題整理】「地方創生時代に求められる議会力」16：10～16：30 江藤俊昭 山梨学院大学教授</p>			

【パネルディスカッション】「議会力強化のための、議会事務局の変革」16:30～17:30

小林宏子 東京都羽村市議会事務局長

清水克士 滋賀県大津市議会局次長

▽進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

■ 2日目：7月12日（木）

【先進事例報告①】「地方創生をリードする議会へ」09:30～11:20

目黒章三郎 福島県会津若松市議会議員／住民との対話から課題解決へ

子籠敏人 東京都あきる野市議会議員／広報改革から展開する議会改革

ビアンキ・アンソニー 愛知県犬山市議会議員／自由討議で委員会提言へ

川上文浩 岐阜県可児市議会議員／委員会代表質問と政策サイクル

▽進行：廣瀬克哉 法政大学教授

（休憩）

【先進事例報告②】「政策を実現する議会へ」11:30～12:30

尾崎大介 東京都議会議員／条例マニフェストと議会改革

松本研 横浜市議会議員／議員提案条例による政策実現

（昼食）

【講演】「海外の議会制度から議会の多様性を考える」13:15～13:50

中林美恵子 早稲田大学教授

【パネルディスカッション】「多様性ある議会に向けた実践と課題」13:50～14:

50

本間まさよ 東京都武蔵野市議会議員

岩永ひさか 東京都多摩市議会議員

白川静子 神奈川県茅ヶ崎市議会議員

▽進行：中村健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

会議報告

初日に行われた内容の主なものを以下に報告します。

最初にローカル・マニフェスト推進地方議員連盟の指導的立場にある元三重県知事でマニフェスト選挙提唱者の北川正恭早稲田大学名誉教授の基調講演であったが、氏は「地方議会が2元代表制の真の機能を発揮することができれば、地方創生が必ず実現する」との思いのもと、参加した我々議員たちに奮起を促されました。

元鳥取県知事、元総務大臣で早稲田大学教授の片山善博氏が「地方創生と地方議会の役割」と題して講演されました。片山教授からは、知事時代の経験から地方議会が住民意見の集約という側面からの役割に期待を寄せられる。

大西一史熊本市長による「震災復興と地方創生」の講演では、熊本大地震の際に地域の被災状況の情報が色々なチャンネルから発信され、かえって混乱したという経験から、住民代表である議員からの情報提供にルールを決めておく必要性を述べられました。

三氏によるパネルディスカッションでは、災害時の議会のあり方について、議員個々の要望や情報が一体的対応に支障をきたすことがあり「チーム議会」で被災住民の要望等に対応することが重要であると同時に、議員個人も積極的に情報を把握

することは必要とのことであった。

本市であった7月豪雨においても私自身被災情報は、災害対策本部に一元的にあげること努めると同時に、復旧計画を地元住民に説明し、バランスを取ることに務めたことを思い出しました。

次に、山梨学院大学の江藤教授から「地方創生時代に求められる議会力」と題して講演があり、地方創生時代における議会力は取りも直さず住民自治の根幹である二元代表制としての地方議会の覚醒を求めた。住民福祉の向上を目指すことについては、首長と議会は共に善政競争を目指すことであり、首長サイドも議会が一枚岩になることに対する恐怖心を払しょくすることについて言及した。

初日としては、災害対応など特質する案件について、議会も議長を中心として情報の一元化を図るとともに、対策についても首長サイドと意思の疎通を図ることがいかに大切か思慮することが出来た。

12日は午前中に「地方創生をリードする議会へ」という表題のもと4人の議長から発表がありました。

各議長からは、これまでの伝統的な議会イメージである「議員個人」から「組織体としての議会」として取り組んでいく必要性を訴えており、川上議長の言葉を借りれば、議員個人からの提言等が「点」に過ぎない限り、執行機関にとっては抗しやすいが、議会が束になって立ち向かうと執行機関は抗うことが困難になる。との指摘があり、だからこそ住民福祉のために真に必要な政策は「個人戦」よりも議会という組織全体で対処することが住民にとってより利益になり、このことが本来の議会改革に結びつき、議会が組織として機能できるためには、自律的制度の整備を進める必要を感じた。

午後からは、女性議長4人によるパネルディスカッションがあった。「多様性ある議会に向けた実践と課題」と題して、女性ならではの視点からの議会の現状について報告された。

議員が多様な住民からの選挙で選ばれて議会を構成する以上、議会が多様なものの考えかた、また多様な個性を持つ事は当然である。地方議会は国と違って二元代表制を採用し、議会の多数派といえども執行権はないゆえ、制度に期待されているのはこうした多様な考え方を「議論」によって調整し、「比較的妥当な結論」を導き出すことであるといえる。

ここに、合議制である議会に対する大きな期待と使命があるが、今後さらに住民福祉の増進のために執行機関と政策競争、善政競争をする議会へと転換していく事がますます必要になってきていると感じる研修であった。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-3
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	1 0 4 , 9 0 4 円	
支出年月日	平成 3 0 年 6 月 2 8 日	
支出内容	平成 30 年 7 月 9 日～7 月 10 日 東京都渋谷区 NOMA 行政管理講座『議会広報紙（誌）編集の基本と 「読まれる」紙面の作り方』への参加費及び振込手数料 並びに資料送付のための郵送料	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-3

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

- 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
- 預金払戻請求書による振込受付書 (兼振込手数料受取書)
預金口座振替

平成	年	月	日
3	0	6	28

当行をご利用いただきまして
ありがとうございました。
お振込は早く、手数料も安いATMからの振込をご利用ください。

- 午後2時以降は、窓口が大変混雑しますので、お振込はできるだけ午後2時までにご依頼ください。
- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。また受取人名等はカナ文字により送信します。
- 依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 振込のため受入れた小切手が不渡になったときは、その金額の振込を取消し、その小切手に権利保全の手続きをしないで当店において返却します。

お振込先	銀行名 みずほ	銀行	組合	農協	その他	支店名 新宿南口	支店					
お振込目	預金種目 <input type="radio"/> 普通貯金 <input type="radio"/> 当座 <input type="radio"/> 貯蓄 <input type="radio"/> その他	金額	百	十	千	百	十	万	千	百	十	円
						103680						
受取人	おさまりのフリガナ シャニホンケイエイギョウカ						おさまりのフリガナ フクヤマシキョウカイズカイ					
おなまえ	取 一般社団法人 日本経営協会						依 おなまえ 福山市議会 水曜会					
おところ	おところ 東京都渋谷区千駄ヶ谷						おところ 福山市夷坂町					
振替	現金振 <input type="radio"/>	振替振 <input type="radio"/>	手受人数 区分	現金 振込 手数料	振込 手数料	電話番号 0849281123						

※このお振込は、別途定める当行の「振込規定」によりお取扱いさせていただきます。
※お振込の組戻しには、別途所定の手続手数料が必要です。

現金・当座 振込 金額	¥103680
振込手数料	
現金 振込 金額	
振込手数料	

株式会社
中国銀行
福山支店



※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-3

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領収書

毎度ありがとうございます

水 曜 会 様

[販売]	
レターパックライト (360円)	
360円 1枚	¥360

小 計	¥360
課税計	¥0
(内消費税等)	¥0)
非課税計	¥360

合計	¥360
お預り金額	¥560
おつり	¥200

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2018年 6月29日 12:18
担当 [REDACTED]
発行No. 18062950200 端N46箱02
連絡先：福山郵便局
TEL:084-924-1509

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-4
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 <input checked="" type="radio"/> 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	10,648 円	
支出年月日	平成30年 6月28日	
支出内容	2018年7月11日～12日 東京都新宿区 全国地方議会サミット2018への 参加費及び振込手数料	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-5
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	35,090 円	
支出年月日	平成 30年 8月 20日	
支出内容	平成 30年 8月 25日及び9月9日, 世界遺産石見銀山特別講座(広島県広島市)への出張旅 費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年8月20日

(代表者) 榑原 則男 様

¥11,830

但、8月25日

世界遺産石見銀山特別講座(広島県広島市)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	10,280円	広島
日 当	1,550円	0.5日
宿 泊 料		
()	円	

(会派名) 水曜会(名 前) 榑原 則男

領収書添付用紙

支出書整理No. 2-5

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年8月20日

(代表者) 榊原 則男 様

¥23,260

但、8月25日及び9月9日
世界遺産石見銀山特別講座(広
島県広島市)への出張旅費



[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,160円	広島
日 当	3,100円	1日
宿 泊 料		
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志 (印)

研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	平成 30 年 9 月 14 日
代 表 者	榑 原 則 男 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	8 月 25 日 榑 原 則 男 石 口 智 志 9 月 9 日 石 口 智 志		
実 施 日	平成 30 年 8 月 25 日 及 び 平 成 30 年 9 月 9 日		
研究研修・調査等の場所	広島県広島市 中国新聞ホール		
目 的	世界遺産石見銀山特別講座から、観光客誘致の取り組みについて学ぶ		

研修内容

- 8 月 25 日 13 時 30 分～15 時 30 分 講師：中野義文（石見銀山資料館館長）
大航海時代を迎えて世界の一体化が進み、国際通貨としての銀の需要が高まった。また、鉄砲の普及により、硝石を輸入するため銀が必要とされるようになり、銀山の所有を巡って、大内氏の死後、毛利元就と尼子晴久による争奪戦が行われた。
- 9 月 9 日 13 時 30 分～15 時 30 分 講師：長谷川博史（島根大学）
1598 年までの 40 年間は、毎年銀 5,000 枚程度であったものを、名護屋陣後は 20,000～30,000 枚の銀を納入するよう要請、中国・朝鮮等との交流の拡大や国内各都市を結ぶ物流の拠点として巨大な都市が出現した。

石見銀山は世界遺産登録により一時観光客が激増したが、その後減り続けている。遺産としては超 A 級ながら観光資源としては B 級に甘んじている。その理由については歴史的な価値の発信方法や駐車場との距離など様々あげられていた。

本講座は島根県教育委員会主催、中国新聞社共催の事業で、2 日間とも 500 人近

い聴講生を集めていたがその大半は広島市を中心とした県内の人だろうと思う。こうした講座で興味関心を高め、石見銀山への観光客増を図るものであり、福山城や鞆など本市の観光資源についても、こうした手法を参考にすべきではなかろうか。

支 出 書

大田

会 派 名	水 曜 会	整理No.	2-6
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 (2) 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	16,200 円		
支出年月日	平成 30年 9月 5日		
支出内容	議員インターンシップ受け入れ費用として (半額)		
支 出 先	別添, 領収書のとおり		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> 有 (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-6

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 証

大田 祐介 様

NO. 41494

¥ 32,400 -

但し 公益委員会 賞金 ¥12
平成30年8月23日 上記の金額正に領収いたしました

内消費税 ¥2,400-

現金

小切手

特定非営利活動法人ドットジェ

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオ



$$32,400 \times 50\% = 16,200 \text{円}$$

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-7
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	6 9 3 , 0 3 0 円	
支出年月日	平成 3 0 年 1 0 月 3 0 日	
支出内容	平成 3 0 年 1 1 月 1 4 日～1 1 月 1 5 日, 全国市議会議長会研究フォーラム（栃木県宇都宮市）への出張旅費	
支 出 先	別添，領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 無 領収書を添付することができないため，上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榑原 則男 様

¥79,020

但、11月14日～11月15日
 全国市議会議長会研究フォーラ
 ム(栃木県宇都宮市)への出張
 旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 早川 佳行



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥79,020

但、11月14日～11月15日
全国市議会議長会研究フォーラム
(栃木県宇都宮市) への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 五阿彌 寛之



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥79,020

但、11月14日～11月15日
 全国市議会議長会研究フォーラム
 ム(栃木県宇都宮市)への出張
 旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 榊原 則男



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥79,020

但、11月14日～11月15日
 全国市議会議長会研究フォーラム
 ム(栃木県宇都宮市)への出張
 旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会(名 前) 高 田 健 司

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥79,020

但, 11月14日~11月15日
全国市議会議長会研究フォーラム (栃木県宇都宮市) への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 今岡 芳徳



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榑原 則男 様


¥79,020

但、11月14日～11月15日
 全国市議会議長会研究フォーラ
 ム(栃木県宇都宮市)への出張
 旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	58,020円	宇都宮
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 連石 武則 

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥72,970

但、11月14日～11月15日
全国市議会議長会研究フォーラム
(栃木県宇都宮市)への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	37,170円	秦野一宇都宮一福山
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 小林 茂裕 

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥72,970

但、11月14日～11月15日
全国市議会議長会研究フォーラム
(栃木県宇都宮市) への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	37,170円	栗野一宇都宮一福山
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 熊谷 寿人



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年10月30日

(代表者) 榊原 則男 様

¥72,970

但、11月14日～11月15日
全国市議会議長会研究フォーラム (栃木県宇都宮市) への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	37,170円	栗野→宇都宮→福山
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	平成 29 年 11 月 20 日
代 表 者	榊 原 則 男 (榊原)印	報 告 者	石 口 智 志 (石口)印
参 加 者	小 林 茂 裕 早 川 佳 行 熊 谷 寿 人 五 阿 彌 寛 之 高 田 健 司 今 岡 芳 徳 榊 原 則 男 連 石 武 則 石 口 智 志		
実 施 日	平成 30 年 11 月 14 日 ～ 平成 30 年 11 月 15 日		
研究研修・調査等の場所	全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮 栃木県宇都宮市 宇都宮市文化会館		
目 的	全国の市議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行い、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的とする。		
研修内容 ○ 11月14日 13時20分～14時20分 基調講演「共生社会と地方自治体」 「地域共生社会」をどうつくるか～2040年を越える自治体のかたちと題して、中央大学宮本太郎教授の講演があった。 高齢化により、現役世代との比率は10対1ともいわれているが、15歳以上65歳までの生産年齢人口のうち、高校生～大学生は支える側でなく支えられる側とも考えられることから、実質的には0.5対1になり「肩車」というより「重量挙げ」といっていい社会の到来となる。また、全国最低の出生率に加えて高齢者人口が増加する東京への一極集中の構図は、日本の「漏斗」化を示しており、「重量挙げ」と「漏斗化」がこれからの自治体が直面する課題といえる。 この場合「支える」「支えられる」の二分法では地域は維持できず、誰もが「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係を超えて、共に地域を創っていくこと（共生社会の構築）が求められる。			

高齢者や貧困家庭の自立を考えると、単に職業の紹介にとどまらず、自治体が企業に「仕事の切り出し」を働きかけたり、定年後の社会参加に向けての支援をしたりしながら、生涯活躍できる社会の実現を図る必要がある。

また日本は「縁」を大切にできる社会であり、新しい家族縁、地縁、仕事縁は必要縁である。

2040年問題をチャンスと捉え、「誰もが人材のまち」「ずっと出番のあるまち」「必要縁でつながるまち」をつくるため政治家の役割は大きい。

○ 11月14日 14時40分～16時40分

パネルディスカッション「議会と住民の関係について」

パネリストの今井氏（地方自治総合研究所研究員）は、「行政への期待が高い←議会への期待は低い」「身近な政治（町村）でなければ大きな政治（国）でもない」を市の課題としてあげ、合併を繰り返して大規模・広域化した「市」は自治の基盤を見失っているのではないかとした。

ひまわり亭代表取締役の本田氏は、自らの活動…農村レストランのオープン・運営から地域づくりに通じて、ネットワークや地域づくりに熱心な若手人材、専門的なコーディネーターの育成などが必要とした。

朝日新聞記者の神田氏は、自らの取材を通して危機感をもつ各地の議会活動を紹介しながら、議会改革の必要性を訴えた。

開催地の宇都宮議長小林氏からは、宇都宮市議会として検討会議を設置し議会改革に取り組んできたこと、子ども議会（議会体験）等の紹介があった。

コーディネーターの江藤氏（山梨学院大教授）は、2025年問題や2040年問題に加え、AIの導入や外国籍住民の増加、地域住民の貧富差から新たな課題が浮上するとし、多様な地域で分断化された住民の意見を集約し統合し地域の発展につなげる必要があり、本来多様な議員によって構成される議会の役割は大きい、また自治体独自では対応できない課題に対して「圏域」については自治体間の連携にとどまっておき、議会がどうかかわるかが今後の検討課題であると、これらに関わることで議会の評価やなり手不足に対応すべきとした。

○ 11月15日 9時00分～11時00分

課題討議「議会と住民の関係について」

課題討議では、同じく江藤氏をコーディネーターとして4市の市議会議員から事例発表があった。

久慈市議会副議長の桑田氏からは、「あまちゃん」で有名になった“じえじえじえ”を使った「議会じえじえじえ基本条例」の前文が方言であることや住民と議会が討議し協働する「かだって会議」（議会が市民の意見を聞き、意見を交わ

しながら政策課題への昇華を目指す) について報告があった。

新潟市議会議員の伊藤氏は、プロジェクトリーダーの立場から主権者教育推進について報告した。その活動は市内の中学校・高等学校を対象として、模擬市議会やワークショップ、市議会の傍聴・見学、議員との交流・意見交換等多岐にわたっている。

犬山市議会議長のピアンキ氏からは、アメリカ(母国)の取り組みを参考に市民フリースピーチや女性議会、議員間討議を導入し、市民の声を行政に反映させている。

竹原市議会市長の道法氏からは自らの体験をもとに、議会への女性参加の意義等について発言があった。

議員のなり手不足や議会の活性化は、全国共通の課題であり様々な提言や活動事例が報告されたが、取りあげる範囲が広いため内容について議論し掘り下げる場が少ないように感じた。犬山市議会の市民フリースピーチは、一般市民数名が議員を前にして市政全般についての要望や意見を5分間程度でスピーチするもので、発言内容は議員間討議を経て行政への提言をおこなうものであり、その内容を一般質問に生かすなど、議会の活性化や市民と議会の距離を縮めるために有効な取り組みであろうと思われる。本セミナーには会派を超えて多くの福山市議が参加しており、水曜会としての集約を踏まえ、他会派と意見交換しながら本市の議会改革についても取り組んでいきたい。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-8
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	6 3 , 8 6 4 円	
支出年月日	平成 30 年 11 月 7 日	
支出内容	平成 30 年 11 月 14 日～11 月 15 日, 全国市議会議長会研究フォーラム（栃木県宇都宮市）への参加者 9 名分の参加費負担金及び振込手数料	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

2-2

0342

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

福山市議会 水曜会 御中

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実

委員長 山田

東京都千代田区平河町2-4-2

金 63,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-9
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	1 5 0 , 3 5 0 円	
支出年月日	平成 30年 11月 26日	
支出内容	平成 30年 11月 26日、福山市役所 3階中会議室において開催した水曜会主催の福山市 P F I 勉強会「官民連携方式の必然性について」に係る講師謝金	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-9

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま



2018年(平成30年)11月26日

領 収 書

福山市議会 水曜会 様

次の金額を領収しました。

	千	百	十	千	百	十	円
支給額		¥	1	5	0	3	50
所得税額			¥	1	5	3	50
差引支給額		¥	1	3	5	0	00

ただし



研修会講師謝礼金

住所

名称又は
名前

植田和男

研究研修・調査報告書

会 派 名	水曜会	報 告 日	平成 30 年 11 月 30 日
代 表 者	榑原則男 	報 告 者	大田祐介 
参 加 者	大田 祐介、今岡芳徳、高田健司、連石武則、喜田紘平、五阿彌寛之、熊谷寿人、瀬良和彦、早川佳行、榑原則男、小林茂裕、石口智志、小川眞和		
実 施 日	平成 30 年 11 月 26 日 ～ 平成 30 年 11 月 26 日		
研究研修・調査等の場所	市役所 3 階・中会議室		
目 的	特定非営利活動法人 日本 PFI・PPP 協会 会長兼理事長 植田 和男氏を招聘して会派内勉強会を開催した		
<p>研究研修・調査概要</p> <p>せっかくの機会なので、全議員と幹部職員にも案内したところ、他会派から 15 名、幹部職員約 40 名が参加され、総計約 70 名が参加した。</p> <p>当時、小中学校のエアコンを PFI による導入が検討されていたことも、関心が高まった一因と思われる。</p> <p>植田理事長は「官民連携方式の必然性について」というテーマで講演され、行政が何か新しい事業や企画を考える際は、まず PFI を検討する「PFI ファースト」を提唱された。従来、多くの議員や職員が PFI に対する偏見「手続きが大変、時間がかかる等」があり、PFI に対して後ろ向きな姿勢があったと思うが、今回の講演会により払拭されたと思われる。</p> <p>I. サウンディング型市場調査 II. 地域プラットフォーム運営支援業務 III. PFI 事業方式の基本メカニズム IV. PFI 事業事例</p> <p>以上の 4 点に分けてそれぞれの具体的な内容について講義された。</p>			

「サウンディング型市場調査」は、案件の内容・公募条件等を決定する前段階で、公募により民間事業者の意向調査・直接対話を行い、当該案件のポテンシャルを最大限に高めるための諸条件の整理を行なうものである。

このことにより、民間事業者にとっても自らのノウハウと創意工夫を事業に反映し、参入しやすい環境（公募条件）とすることができると感じた。行政側は事業の実現可能性や、市場として参入しやすい条件、活用に向けたアイデアなどを把握でき、また事業者側は行政の運営方針や考え方を事前に確認できるほか、事業者としての考え方を直接伝えることができるなどの利点がある事を知った。

また、サウンディング型市場調査において【随意契約保証型提案制度】を福山市としても導入の検討が必要と感じた。

地域プラットフォーム運営支援業務とは、PPP/PFI手法を1度も経験していない地元企業に対し、PPP/PFI手法に基づく事業者選定プロセスの「バーチャル体験」を実施するとのこと。行政だけでなく、民間企業もPFIに対する理解を深め準備をすることが重要と感じた。

最後にPFIの基本メカニズムとしての「ライフサイクルコスト削減のメカニズム」を理解し、様々な事業に適用されている事例を紹介された。福山市としても様々な事業に応用できると感じた。

今回、多くの議員と幹部職員が同時に同じテーブルで講演を拝聴したことにより、PFIに対する共通認識が生まれたと思う。実り多き講演会であった。まずは来年度から実施される「パークPFI」に生かしていけたらと考えている。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-10
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	204,720 円	
支出年月日	平成 31年 2月 6日	
支出内容	平成31年2月20日～2月21日, 地方議員研究会（東京都中央区）への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理No. 2-10

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年2月6日

(代表者) 榑原 則男 様

¥68,240

但、2月20日～2月21日
地方議員研究会（東京都中央区）へ
の出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 小林 茂裕 

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年2月6日

(代表者) 榊原 則男 様

¥68,240

但、2月20日～2月21日
 地方議員研究会(東京都中央区)へ
 の出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 榊原 則男



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年2月6日

(代表者) 榑原 則男 様

¥68,240

恒. 2月20日~2月21日
 地方議員研究会 (東京都中央区) へ
 の出張旅費



[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,240円	東京
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志 (印)

研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	平成 31 年 2 月 25 日
代 表 者	榑 原 則 男 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	小 林 茂 裕 榑 原 則 男 石 口 智 志		
実 施 日	平成 31 年 2 月 20 日 ～ 平成 31 年 2 月 21 日		
研究研修・調査等の場所	東京都中央区 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 地方議員研究会「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」 「質問方法スキルアップ研修 初級編」		
目 的	近年課題となっている政務活動費等について考え方を整理するとともに、議会活動の基本である質問のあり方について学ぶため、専門性の高い講座を受講することにより、議員の専門性・スキルアップ向上を図る。		
研修内容	<p>○ 2 月 20 日 14 時～16 時 30 分</p> <p>「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」</p> <p>政務活動費は、日本における地方議会の議員に政務調査研究等の活動のために支給される費用であり、もとは政務調査費の名称であったものが、2012 年（平成 24 年）の地方自治法改正により改称され用途が拡大されたものである。</p> <p>政務活動費に係るトラブルについては、2014 年（平成 26 年）兵庫県議の支出に関わって事件化、国民の耳目を集めるところとなった。この事件で政務活動費の使い方について決着したかに見えたが、2016 年（平成 28 年）富山県議会副議長の不正発覚に続き、宮城、山形、奈良県議とマスコミからの総攻撃で炎上が続いている。</p> <p>議員としては、政務活動費の処理は「地雷の処理」と心得、真剣に対応しなければならない。政務活動費の主たる使い方は政策提言・政策立案能力の向上等を図るための調査研究費であることから使わなければならないが、収支報告書をオープンにするとともに領収書等もネット公開に努め、また「判例」には上級審</p>		

も視野に入れ対応していくことが必要である。

○ 2月21日 10時～12時30分

「質問方法スキルアップ研修 初級編」

一般質問は、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すことである。一般質問では「知っていることを聞き、知らないことは聞かない」「議場で分からないことは尋ねない」という点が一般社会の会議における質問と異なる点であり、事前の勉強と十二分なヒアリングの上に立って行うものである。

質問のスタイルとしては、「地元・住民要望型」「財政・市政に関するチェック型」「行財政改革型」「政策提案型」などに分けられる。

議会のあり方については、議会の監視評価機能と政策立案機能を発揮する方向で進んでおり、そのプロセスの「見える化」と併せて行うことが地方自治の本旨につながると考える。

本研修の講師は枚方市の市議を4期務めた方で、議員の視点から様々な提言をされたが、貴重な提言も数多くいただいたが、一方自らの経験に基づいたものについては議会が違えば活用しにくいと感じる部分もあった。

ただ政務活動費については、事務局任せにせず、他市の事例や判例に注目しながら、議員自らの責任において執行するという自覚がこれまで以上に求められていると感じさせられた。

政務活動費で「地雷」を踏むことは本人の政治生命だけでなく、議会への信頼を損なうものであるから、講師を招くなどして、最新の判例や議員の共通理解を深めることも必要であり、今後検討していきたい。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-11
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	90,864 円	
支出年月日	平成 31年 2月 6日	
支出内容	平成31年2月20日～2月21日 東京都中央区 地方議員研究会「率直に語る地方議員に関するお金の考 え方」及び「質問方法スキルアップ研修」への参加費 及び振込手数料	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

※ 別紙

※ 領 収 書 添 付 用 紙

支出書整理No.

2-11

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 証

小林 茂裕 様 31年2月20日

★ ￥30,000

但 2/20 14:00~「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」

2/21 10:00~「質問方法スキルアップ研修 初級編」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

榊原 則男 様 31年2月20日

★ ￥30,000

但 2/20 14:00~「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」

2/21 10:00~「質問方法スキルアップ研修 初級編」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

※ 別紙

※ 領 収 書 添 付 用 紙

支出書整理No.

2-11

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は 支出書整理No.を右側に記入してください。

領 収 証

石口 智志

様

31年2月20日

★

¥30,000

但 2/20 14:00~「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」

2/21 10:00~「質問方法スキルアップ研修 初級編」

研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 い た し ま し た

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No. 2-1/

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

預金払戻請求書による振込受付書 (兼振込手数料受取書)

平成 年 月 日
 2018

当行をご利用いただきまして
 ありがとうございます。
 お振込は早く、手数料も安
 いATMからの振込をご利用
 ください。

- 午後2時以降は、窓口が大変混雑しますので、お振込はできるだけ午後2時までにご依頼ください。
- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。また受取人名等はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- ご得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 振込のため受入れた小切手が不渡になったときは、その金額の振込を取消し、その小切手に権利保全の手続きをしない
 て当店において返却します。

お振込先 銀行名	梁天	銀行	金庫	組合	農協	その他	支店名	第二	営業	支店
お振込先 預金種目	普通 1	当座 2	貯蓄 4	その他 9	口座番号	[Redacted]				
お振込先 お名まえのフリガナ	シヤ)子ホウキインケンキュ					フクヤマシキカイスイヨウカ				
お振込先 お名まえ	(社)地方議員研究会					福山市議会 水曜会				
お振込先 おところ	大阪府淀川区西宮原2-6-16639					福山市東桜町3-5				
お振込先 おところ	〒106 71878 局6297番									
お振込先 おところ						電話番号 0849281123				

*このお振込は、別途定める当行の「振込規定」
 によりお取扱いさせていただきます。
 *お振込の組戻しには、別途所定の手続手数料が
 必要です。

現金・当座 振込(1日)	12,000円
現金・当座 振込(2日)	
現金・当座 振込(3日)	
現金・当座 振込(4日)	
現金・当座 振込(5日)	
現金・当座 振込(6日)	
現金・当座 振込(7日)	
現金・当座 振込(8日)	
現金・当座 振込(9日)	
現金・当座 振込(10日)	

株式会社
中国銀行
 福山支店

引紙: 200円

振込金+手数料が
 5万円以上振付
 2. 当座の個人口座
 への入金金は全て
 即時振込の場合
 は振付不要

16 Fp2018457 15,000 + 2 = 70,000円 入金

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-12
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	26,000 円	
支出年月日	平成 31年 2月 6日	
支出内容	平成31年2月23日, シンポジウム「学校におけるいじめ対策」(兵庫県伊丹市)への出張旅費	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
(該当○印)	無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年2月6日

(代表者) 榊原 則男 様

¥26,000

但、2月23日

シンポジウム「学校におけるいじめ
対策」(兵庫県伊丹市)への出張旅
費

[内 訳]

上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交 通 費	22,900円	伊丹
日 当	3,100円	1日
宿 泊 料		
()	円	

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

会 派 名	水 曜 会	報 告 日	平成 31 年 3 月 8 日
代 表 者	榊 原 則 男 	報 告 者	石 口 智 志 
参 加 者	石 口 智 志		
実 施 日	平成 31 年 2 月 23 日 ～ 平成 31 年 2 月 23 日		
研究研修・調査等の場所	兵庫県伊丹市 伊丹市立文化会館いたみホール シンポジウム「学校におけるいじめ対策」 ～目撃時の行動に焦点を当てて～		
目 的	目撃時の行動に焦点をあてたいじめ防止プログラムの開発と検証、及び小中学校における実践発表と演習を通して「学校におけるいじめ対策」について学ぶ。		
<p>研修内容</p> <p>○ 2 月 23 日 13 時 30 分～14 時 20 分</p> <p>【講演】</p> <p>これまでの研究により、いじめを目撃することはいじめ被害経験の有無にかかわらず、目撃者のメンタルヘルスに対して悪影響を及ぼすとともに、いじめ加害と同様に喫煙，飲酒，薬物乱用のリスクを高めることがわかっている。</p> <p>また、いじめを未然に防止したり深刻化させたりしないためには、目撃者の果たす役割が非常に大きい。</p> <p>2015 年行った調査によると、中学校 1 年以降、いじめはどんな理由があってもいけないという道徳的価値観あるいは規範意識は変化しないものの、実際にいじめを見たときに被害者を助ける生徒の割合は減少することも分かっている。</p> <p>今回のシンポジウムでは、今までのいじめ防止プログラム「児童生徒間のトラブルが起こりにくい，よい関係をつくる能力の形成」「生徒間にトラブルが生じた際に，主体的かつ効果的にトラブルを解決する能力の育成」「トラブルがいじ</p>			

めなどへ発展した際に、その悪影響を低減する能力の育成」に加えて、「いじめの真実」「いじめに関する意思決定」「いじめ防止について考える」「いじめ防止キャンペーン」などの授業を組み合わせたいじめ防止の取組について、小学校及び中学校での現在の取組の成果と課題について検証する。

○ 2月23日 14時30分～15時30分

【講演・演習1】小学校におけるいじめ防止の取組

綾部小学校は京都府の北部にあり児童数570人の中規模の小学校である。いじめはどこの学校でも起こりうると言われているが、果たしてそうなのか？

「いじめはいけない」という徳目的なことを教え諭すだけでなく、主体的に児童が考え行動に結びつくようなプログラムが少ないことから、いじめの起こりにくい学校を作り上げていくために、児童の行動変容につながるプログラムを考えることとし、その行動は①自分にとって②いじめられる人にとって③周りの人にとって、どんな良いことがあるのかを考えさせること、良い友人関係について考えさせる、授業構成のポイントとして「意思決定」を行い行動することでいじめを未然に防止できる、起こったとしても解決に向けて対応できることを理解させる、特に仲裁者として被害者を助けられるような手法を考えることなどをあげられた。

○ 2月23日 15時40分～16時40分

【講演・演習2】

福山市立神辺中の村上教頭から、中央中学校と神辺中学校のいじめ防止の取組について報告があった。

中央中学校では「いじめ防止プログラム」を実施しながらいじめ防止問題について探求し、「いじめ防止キャンペーン」を実施したこと、小中合同で「いじめSTOP集会」を実施することで翌年入学する6年生の意識を高めたことなどの報告があった。

神辺中学校に異動後、両校による実践交流や、交流を活かして神辺中での「いじめSTOP集会」に開催、また、仲間を称賛する「秘密の友達」や自他の個性を強化する「コラージュづくり」のプログラムに取り組んだことが紹介され、実際にミニワークショップとして体験した。

綾部小学校の村上校長、神辺中学校の村上教頭の発表を聞く中で、しっかりとしたねらいをもって授業や学活を行うことで、「傍観者にならないようにする」「いじめをなくそうと日常生活で意識して行動する」児童生徒の割合が向上することが分かった。

またライフスキルの考えを取り入れワークショップ等を実施することは、児童生

徒の行動変容に結びつくだけでなく、そこにいたる校内研修等において教諭自らが楽しんで学び考えられるという効果も報告された。

教育については、綾部小学校の報告から、奇をてらわず当たり前のことを少し工夫しながらやっていくことで十分な効果が期待できること、神辺中学校の報告からは逆にいじめ予防について、徳目だけでは解決が難しいことから行動変容に結びつくよう、ねらいをもって取り組むことが大切と感じられた。

短時間の研修ではあったが両校の取組や成果を市教委に伝え、福山市におけるいじめ対策に活かしていただくよう働きかけていきたい。

支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-13
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 (2) 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	16,200 円	
支出年月日	平成 31 年 3 月 14 日	
支出内容	NPO法人 ドットジェイピー 議員会費 (半額請求)	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 _____ 印

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-13

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領収証

大田 祐介 様

NO. 42216

¥ 32,400 -

但し 議員会費 として
平成31年2月27日 上記の金額正に領収いたしました

内消費税 ¥2,400 -
現金
小切手

特定非営利活動法人ドットジェ

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオ



支 出 書

会 派 名	水 曜 会	整理No. 2-14
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 ② 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	16,200 円	
支出年月日	平成 31 年 4 月 8 日	
支出内容	ドットジェイピー 議員会費として	
支 出 先	別添, 領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="radio"/> 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

2-1.4

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領収証

連石武則様

NO. 42220

¥32,400-

但し 3/28日 上記の金額正に領収いたしました

内消費税 ¥2,400-
現金
小切手

特定非営利活動法人ドットジェーピー
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアム

